

子どもたちに明るい未来を

「全国憲章運動推進協議会全国研修会2025佐倉」が開催されました



令和7年11月15日、「全国憲章運動推進協議会全国研修会2025佐倉」が、全国各地から市民憲章等の関係者の方たちが集まり開催されました。会場は千葉県佐倉市の国立歴史民俗博物館。主催したのは全國憲章運動推進協議会(令和7年度の事務局は千葉県佐倉市の佐倉市民憲章推進協議会)です。

開会行事では、佐藤伸五・全国憲章運動推進協議会会长(佐倉市民憲章推進協議会会长)が主催者を代表して、来賓として西田三十五佐倉市長や村田穣史佐倉市議会議長があいさつしました。

続いての基調講演は、チベット出身の声楽家のバイマー・ヤンジンさんを講師に迎えました。演題は「子どもたちに明るい未来を」。自身の経験を踏まえて、日本とチベットの文化の違いや家族のあり方などについてユーモアあふれる語り口で聴衆を魅了しました。

事例発表では、3地区から発表がありました。

未来部では、子どもを地域や社会の宝として地域の子どもは地域で育てるという京都ならではの「はぐくみ文化」があり、それを引き継ぐのが京都はぐくみ憲章で、市民共通の行動規範として平成19年に制定され、地域での子どもを真ん中にした取り組みが進められている様子が発表されました。茨城県の水戸市住みよいまちづくり推進協議会では、小学校区ごとにコミュニティティープランを作っている事例、地元佐倉市からは3団体が発表しました。

最後に市民憲章運動研究の第一人者の三輪真之氏(計画哲学研究所所長)が講評を行いました。「各地域、各地区で活動を確認して、みんなで共有していくことが大事だということを学びました。いま地域で活動に携わっている人たちが一番知りたいのは、住民の動機、どういう気持ちになつたら参加してくれるか、そういうことを考えさせられる発表でした」と話しました。

研修会終了後には希望者による交流交歓会も行われました。